



F A S 住まい新聞

(株)ホームズ
倉吉市八屋 140-1
Tel 0858-26-9002
fax 0858-26-7155

～ 梅雨時を快適に過ごすには ～

◇ 湿気を抑えれば清涼感を覚えます ◇

鬱陶しい梅雨の時期を迎えています。梅雨は、この時期にみられる太平洋高気圧の縁の部分に出来る梅雨前線が日本列島付近に掛かる気圧配置の関係で起きる現象と言われます。従来、梅雨前線の北端部は、津軽海峡あたりまでと言われておりましたが、少しずつ北上してきたように思われます。

しかしながら、北海道の6月から9月までの気候は、本州と比べるとはるかに凌ぎ易いです。なぜ北海道がこの季節を凌ぎ易いかと言うと、取りも直さず湿度が低いからなのです。湿度が低いと 70%が水で出来ていると言われる人の身体から水分が蒸発して体温を奪ってくれるからです。

本州の梅雨時は、気温 26℃、湿度 80%と言う時が少なくありません。ジワッとした蒸し暑さが梅雨時の特徴です。北海道では気温が同じ 26℃でも、湿度が 50%を下回る日が多く、木陰に入ると清涼感を覚えます。

同じ気温でも湿度によって、人の身体から奪う体温の量が異なるからです。人の暮らす居住空間でも湿気をコントロールする事で清涼感を向上させる事が出来ます。梅雨時期には、家の中の湿気を除去して湿度を下げる事が出来れば、北海道の木陰にいるような環境となります。

◇ 居住間の湿気を除去する方法 ◇

家の中の湿気除去のために換気扇を稼働させると、梅雨時期で大量に湿気を含んだ外気も取り込みます。梅雨時期に湿気除去が目的で普通の換気扇を稼働させる事は逆効果となる場合があります。換気扇には、ファースの家に採用している「全熱式熱交換タイプ」と言う種類のものがあります。

これは入ろうとする外部湿気を U ターン阻止が出来るタイプです。冬場の乾燥時期において果たす湿気回収の逆作用なのです。ところがそれだけで清涼感を保持できるほどの湿気除去は出来ません。

一般的なのは除湿機を用いる事です。これは室内に存在する湿気を、機械で取り除く装置です。除湿機は何種類かの除去方法があります。

従来から使用されてきたコンプレッサー方式ですが、冷媒ガスを圧縮し、出来た冷気で結露をさせ、水をとるエアコン除湿と同じ作用です。

勿論、エアコンのドライモードでも多くの湿気が除去出来ますが、それ自体にも、弱冷房除湿や再エネ除湿等、そのエアコンによって機能と快適性、

そして経済面が異なります。

最近では、デシカント方式と言って、シリカゲルやゼオライトなどの吸着材を回転する円盤状の素子にコーティングし、送風機で室内の湿気を吸着させ、片方で熱による湿気放散をし、水に凝縮して取り去る方法です。

さらに両方の特色を持ったハイブリッド式などもあります。

ファースの家の除湿方法は小屋裏エアコンとシリカゲルで行っております。現在市販している除湿機については、デシカント方式が増えてきておりますが、使用電力量がアップするなど、色々と課題はあります。

採用する際には、自身の環境にあったものを吟味する必要があります。

◇ 家の性能が無ければ除湿機周辺だけ ◇

除湿機は、湿気を取った乾燥空気を創り出します。しかし、家が隙間だらけだったとすると、外部の湿気を次々と室内に呼び込んでしまいます。つまり、しっかりとした気密性能を保持していない家の除湿による清涼空間は、除湿機の周辺空間に限られると言う事になります。

シリカゲルやゼオライト、そして炭、更には木材なども湿気を吸着します。湿気を吸うと家屋内の湿気を少なく出来ますが、そのキャパシティーが課題となります。いずれも調湿素材には変わりありませんが、家屋内の湿度を一定に保持させるには、膨大なキャパシティーと、高度な気密構造でなければなりません。ファースの家では、床下や天井裏に敷き詰めたファースシリカ（シリカゲル）が約 150～200 リッターもの水を蓄える能力があります。

このファースシリカの湿気保有量が飽和状態になった時は、小屋裏エアコンを稼働させる事で家屋内全体の湿気を適切にします。

当然、夏場の外部からの湿気や冬場の乾燥空気導入を防ぐ、家全体をすっぽりと包み込むシームレス状の気密層を保持しております。

梅雨時期にファースの家を体感して戴きたいと思います。

建築情報や知識は、ファース本部公式サイトで！



ファースの家

検索



「ファースの家」・家づくりの情報発信！

YouTube公式チャンネル開設

『ファースチャンネル』

このバナーをクリックするか、QRコードを読み取りご覧聴ください

